

Q-0206 コンクリート舗装は盛土区間に適用できますか？

コンクリート舗装は剛性が高いため、路床や路盤の一時的な変形や沈下に耐えることはできるが、路床や路盤に永久変形や不同沈下が起こるとコンクリート版に応力集中が生じ、局所的な破損をまねく懸念がある。したがって、盛土区間にコンクリート舗装を適用する場合には、路床の圧密沈下対策及び路盤の締固めを十分に行い、路床や路盤の永久変形や不同沈下を小さく抑えることが重要となる。

また、短い間隔で横収縮ひび割れが入ることが特徴である連続鉄筋コンクリート舗装を採用することで、ある程度までの路盤の変形に追従できる舗装構造とすることができるので、盛土区間にも適用することができる。常磐自動車道（いわき勿来 IC-いわき湯本 IC）では、盛土区間を含めて連続鉄筋コンクリート舗装が採用されており、20年間供用されている。